

セキュリティ・ポリシーの見直しの勘所（基礎編）【会場・オンライン同時開催】

(4122250)

本セミナーでは、セキュリティ・ポリシーのサンプルを利用し、例題よりどのように内部アセスメントを実施するか学びます。また、対応策としてセキュリティ製品やツールを導入する場合の用語と定義、効果（カバー領域）について基礎的な部分を理解します。最終的にセキュリティ・ポリシーをどのように変更し、ツール類をどのように導入するかの勘所をつかみます。

開催日時	2022年11月7日(月) 10:00-17:00
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル
DXリテラシー	How(データ・技術の活用)：留意点
講師	石橋正彦 氏 (サイバー研究所 所長) ベリングポイント（現PwC）においてセキュリティ監査人/ベンチマークに従事。その後、ガートナーにてセキュリティ、BCP/DRのリサーチ業務に従事。ISOの審査員を経て、国内で最もISOを取得した企業（6規格統合運用）に在籍し、効率の良い 内部監査や従業員教育を実施。JUASでは研究会に12年在籍し、講師を6年に渡り実施。現在ではコンサルファームに所属。
参加費	J U A S 会 員 / I T C：33,800円 一般：43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 （ 日本橋堀留町2丁目ビル2階 ）
対象	情報システム部門のS E、コンサルタント 職務：営業/開発/管理部門 レベル：システムエンジニア初級 中級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	・お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。 ・オンラインにてご参加の方も、演習や質疑応答でマイクを利用することがあります。ご発言いただける環境にてご参加ください。
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

【選べる受講形態】

A. 会場にてご参加：[【Co-lab-po（2 階会議室）施設利用にあたっての取り組み】](#)

B. オンラインにてご参加：[【セミナーのオンライン受講について】](#)

■テキスト

A. 会場にてご参加：当日配布

B. オンラインにてご参加：開催7日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）

※開催7日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

■開催日までの課題事項

特になし

本セミナーでは、セキュリティ・ポリシーのサンプルを利用し、例題よりどのように内部アセスメントを実施するか学びます。また、対応策としてセキュリティ製品やツールを導入する場合の用語と定義、効果（カバー領域）について基礎的な部分を理解します。最終的にセキュリティ・ポリシーをどのように変更し、ツール類をどのように導入するかの勘所をつかみます。

■主な内容

第1部 はじめに

- ・本セミナー受講の前提条件
- ・セキュリティ・ポリシーの構造と流れ
- ・セキュリティ・ポリシーのアセスメント／監査の流れ
- ・セキュリティ製品／サービスの定義

第2部 セキュリティ・ポリシーで指摘を受けやすい部分の見直し

- ・内部アセスメント／内部監査／外部監査の違い、手法
- ・取引先からの質問事項とセキュリティ・ポリシーの指摘（例）
- ・エンドポイント・セキュリティ（アンチウィルス／HDD暗号化）への質問とポリシー反映
- ・メールに関するセキュリティ製品やサービスへの質問とポリシーへの反映
- ・誤送信対策や、2 ファイル目にパスワードを送付する日本人が好むセキュリティ対策

第3部 委託先から質問を受けやすいIAM（アイデンティティ&アクセス管理）

- ・IAM（特権ID管理、WAM）の分類と効果、ポリシーへの反映

- ・ 人事システムからディレクトリまでのプロビジョニング、不要IDの削除とポリシーへの反映
- ・ 認証連携をしたい相手先へのフェデレーション、SAML/ADFSの有効利用
- ・ 一般的な犯罪捜査とIAMの有効性

第4部 サイバー・セキュリティの要素をセキュリティ・ポリシーへ反映させる

- ・ アプリケーション・セキュリティ（脆弱性診断やペネトレーション・テスト）をポリシーに反映
- ・ データ・セキュリティ（暗号化とDRM、トークナイゼーションやCASB）をポリシーに反映
- ・ SOCは自前かサービスか、責任範囲をどのように定義してポリシーに反映させるか

第5部 今後の内部アセスメントとセキュリティ・ポリシーの維持

- ・ 年間監査計画と予算について